

あきる野ルピアの管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野ルピア
	所在地	あきる野市秋川一丁目8番地
	所管課	教育部生涯学習推進課生涯学習係（内線）3011
指定管理者	名称	株式会社 秋川総合開発公社
	所在地	あきる野市秋川一丁目8番地
	業務内容	①あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用承認等に関すること。 ②あきる野ルピア施設及び附属設備等の利用に係る利用料金の徴収に関すること。 ③あきる野ルピア施設及び附属設備等の維持管理及び安全に関すること。 ④あきる野ルピア施設及び附属設備等の簡易修繕に関すること。 ⑤生涯学習事業等の実施に関すること。 ⑥その他施設及び事業の管理運営に関して、教育委員会が必要と認めること。
ホームページ URL		http://rupia.co.jp/
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	(平成20年度)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
利用件数(件)		1,538	1,993	1,962	2,391
前年度比(件)			455	△31	429
前年度比(%)			129.58	98.44	121.87
利用者数(人)		51,380	47,347	53,028	48,754
前年度比(人)			△4,033	5,681	△4,274
前年度比(%)			92.15	112.00	91.94
利用料金収入(円)		10,748,620	12,334,225	12,540,725	12,904,025
前年度比(円)			1,585,605	206,500	363,300
前年度比(%)			114.75	101.67	102.90

※年度末に発生した震災による閉館に伴う、利用のキャンセルと納入済み使用料の返還により減少があった。

3 施設の収支状況について (単位：円)

項目		平成21年度	平成22年度	平成23年度(税抜)
収 入	指定管理料	7,603,277	8,587,277	8,416,454
	利用料金	12,334,225	12,540,725	12,307,172
	NHK 学園他収入	9,323,694	2,560,288	1,740,142
	計	29,261,196	23,688,290	22,463,768
支 出	人件費	14,746,906	15,635,035	18,118,034
	維持管理経費	14,592,887	8,044,755	5,493,197
	計	29,339,793	23,679,790	23,611,231
収支合計		△78,597	8,500	△1,147,463

※平成23年度決算より、公社決算書との整合を図るため、消費税を抜いた額とした。

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
施設利用申込みの期限を見直し、直近でも利用できるようにしてほしいとの意見があった。	規則改正を行い、ルピアホールの施設利用申込みが1週間前までできるようになり、また、他の施設は当日でも借りられるように改めた。
空調機の故障により、一部施設を冷暖房が効かない状態で提供せざるをえなかった。 雨漏れにより、展示室の展示品や荷物がぬれた。	空調機については応急処置で対処し、その他は新年度予算において対応することとした。 また、雨漏れについては調査を行い、状況を確認して対応することとした。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	施設の機能を活用した催事や講座の事業を自ら展開し、適宜その参加者や講師の方に協力をお願いしヒヤリングやアンケートで把握に努めている。 また、ルピアの施設を利用した際にも、窓口やロビー等でコミュニケーションを図り、使い勝手やスタッフ対応の状況把握に努めている。
調査結果	その内容からは、催しなど開催やその充実についての期待感の大きさが感じ取れた。一方、市の広報紙での告知の充実を求められている。 また、施設の特徴を活かした講座や催しを継続して実施してきたことによって、事業の定着と多くの参加があった。(開催回数 362 回、参加 4,354 人、1,287 時間)

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
計画停電に伴う節電の状況を踏まえ、その後も極力節電に努めた。	電気料金が約 15%節約でき、経費の節減を図ることができた。
ルピアホールの情報設備の整備を図った。	ルピアホール内において、NTT の光回線がすぐ使えるようになり、使用者の利便性の向上を図ることができた。
会議システムや音響機器の整備を図った。	大人数の会議等において複数の専用マイクで対応することが可能となり、近隣にはない設備が整備されたことで、新たな顧客を確保することができた。
会議施設の充実を図った。	施設内に無線 Lan のほかに有線 Lan も敷設し、会議等でパソコンを利用できる環境を整備することで、利用者へのサービス向上を図ることができた。

7 総合評価

指定管理者の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価)

あきる野ルピアの設置趣旨である秋川駅北口活性化の一助として、指定管理者制度をもって日々取り組んでいる。

地域イベントへの積極的参加や協力など、さらに指定管理者自らの主催による生涯学習講座をより充実させ、特に平日の昼間における施設の利用頻度を高めるとともに、使用料の増収につなげ、利用者の増加を図った。

特に年度前半は、震災の影響もあり、計画停電などによる施設利用のキャンセルが相次いだ。その後も被災地に対する配慮から大規模な施設利用の自粛が続いた。

しかし、このような影響による施設利用の減収などを、主催講座によって十分にリカバーできた。

設置者（所管課）の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価)

東日本大震災による施設利用の減少があったものの、各種の自主事業を数多く実施することで、多様な学習機会を提供するとともに、多くの施設利用者の獲得が図られている。更に1・2階の商業施設との連携が図られ、施設の効率的な管理のほか、秋川駅北口を中心とした地域の活性化や発展に繋がる事業展開が期待どおり図られてきている。また、音響設備やパソコン利用のための設備の整備が行われるなど、施設の利便性の向上が図られ、利用者が各種の情報を様々な手段できる環境を提供するなど、市民の学習等の場の拡充が図られている。また、節電などの取組により、経費の節減が図られている。

今年度は規則を改正し、1月から施設の利用申込み期間を変更し、利用者がより施設を利用しやすくするための改善を図ったが、今後は各種の情報提供によりこの周知を図り、これを最大限利用して施設利用の拡大につなげるとともに、市民がより利用しやすい施設として市民サービスの向上に努める必要がある。